

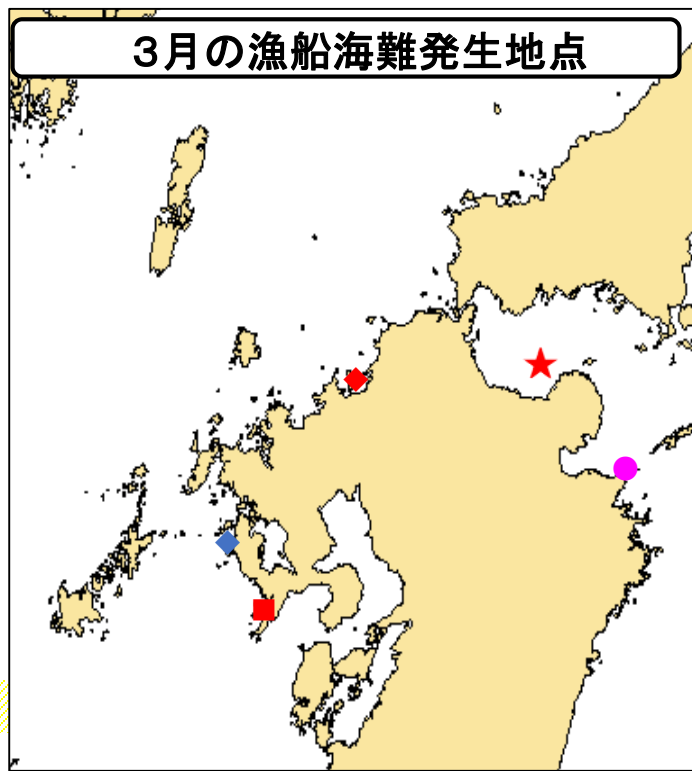
令和3年3月発生
七管内漁船海難 計5隻

令和3年3月累計24隻 (前年23隻)

漁船海難発生隻数は前年に比べ**1隻増加**

漁船海難隻数 (速報値)			県別内訳		
			3月	令和3年累計	
衝突	★	1	山口県	0	3 (2)
火災	●	1	福岡県	1	2 (6)
運航不能 (機関故障)	■	1	佐賀県	0	1 (2)
運航不能 (無人漂流)	◆	1	長崎県	2	13 (8)
運航不能 (有人漂流)	◆	1	大分県	2	5 (5)
合計 5 隻 (昨年 10 隻) 死亡、行方不明者: 1件			合計	5隻	24隻 (23隻) ()は昨年同月

県別内訳表は、各県に所在する海上保安部署の担当海域にて発生した海難の合計数を示しています。数値は速報値です。



累計死亡・行方不明者数: 2名 (令和3年3月末日現在)

初心

を大切に。

✓ 入港後に機関室船底部に溜まった海水を排出するためのポンプを起動したまま下船したところ、自動停止機能が作動せずモーターが空回り状態となり、加熱発火しました。



甲板が燃えた漁船

◎ポンプ作動中に離れず排水が終わるまで確認をしていれば、この事故は防げた可能性があります。

◎定期的に点検整備を行っていれば、ポンプの不具合に気づけた可能性があります。



機関等の点検整備をしましょう!

